

2010.10.28「尖閣ビデオを全面公開せよ」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。

今日、10月28日の午前10時から、参議院内閣委員会で質問して参りました。私は、今国会で財政金融委員会に所属しておりますが、今日は財金委員会から内閣委員会に差し替えて質問をしました。

今日の内閣委員会で追及した問題は、10月14日に予算委員会で俎上に上がった、岡崎トミ子国家公安委員長が反日のデモに参加していたという、国務大臣以前に国会議員としてふさわしくない行動についてです。

しかし、この問題以上に大きなニュースが入ってきました。それは、今日の朝8時からの自民党本部外交部会で法務省からの説明によると、衆議院の予算委員会に提出をされた尖閣の衝突のビデオが、もともと那覇地検が持っていた証拠のビデオとは違う、編集されたものであったということです。5分間程編集をして提出していたということですから、我々が要求している物と違うのではないか、その真相を確かめるために、今日の内閣委員会で、仙石官房長官に質問をしました。仙谷官房長官と総理が見られたというビデオは、7分間のビデオだったと言われています。ところが、我々に対して、国会に提出されているビデオは、5分少々ですから、明らかに違う物であると言えます。そもそも、那覇地検には「どのようなビデオがあるのだ」と聞くと、もともと海上保安庁から提出されたもので、それを那覇地検が編集して持ってきたということでした。

た。編集といえば聞こえはいいけれども、ビデオの全面公開を要求しているのに、それを適当に編集して都合のいいところだけ提出するというのは、データの改ざんと言っても過言ではありません。今、大阪地検の特捜部の件で証拠の改ざんが問題になっていますが、同じ事をしているのではないのでしょうか。しかも、国権の最高機関である、国会の命によってビデオの公開を求めているのに、これに対して菅内閣は「那覇地検がしたことなので我々は知りません」と言うのです。

しかし、政府側から外交上支障がないようにと、予算委員長宛に要望書をつけたと言いますから、そのような圧力が那覇地検に有ったのは、明らかな事実なのです。このように、菅総理や仙谷官房長官は、国民に事実を知らせようという気が全く無いということが明らかです。この様子はぜひ、私のウェブサイトや You tube の動画などでご覧頂きたいと思います。

また、肝心の岡崎氏の問題ですが、この方が参加された「水曜デモ」が、昨日、水曜日も行われました。私はソウルの現地記者の方に直接電話で聞きました。デモの内容ですが、例えば竹島問題であれば、竹島は日本の領土ではなく韓国の領土であるという主張の運動をして、日本から学生や労組の方々が一緒になってシュプレヒコールを日本大使館に向けてあげているということです。これは反日行為そのものです。そのような場にのこのこと出て行った岡崎トミ子氏は何を考えているのでしょうか。彼女は国務大臣どころか国会議員としての

資格ありません。この事も追及し、辞任を要求しました。こちらも、ぜひご覧ください。

最後に皆様方をお願いしたいことがあります。平成 22 年 11 月 18 日に憲政記念館で私の初めての東京政経セミナーを開催し、ゲストに評論家の西部邁先生にお越しいただきます。飲食物が無く、会費が 1 万円とかなり高額ですが、私の政治活動を続けていく為に、色々な方から御支援いただきたいと思います、初めてこのような企画をさせていただきました。御時間と経済的に余裕のある方は、ぜひ御支援をいただき、申し込んでいただくことをお願いしまして、本日のビデオレターを終わりとさせていただきます。ありがとうございました。